

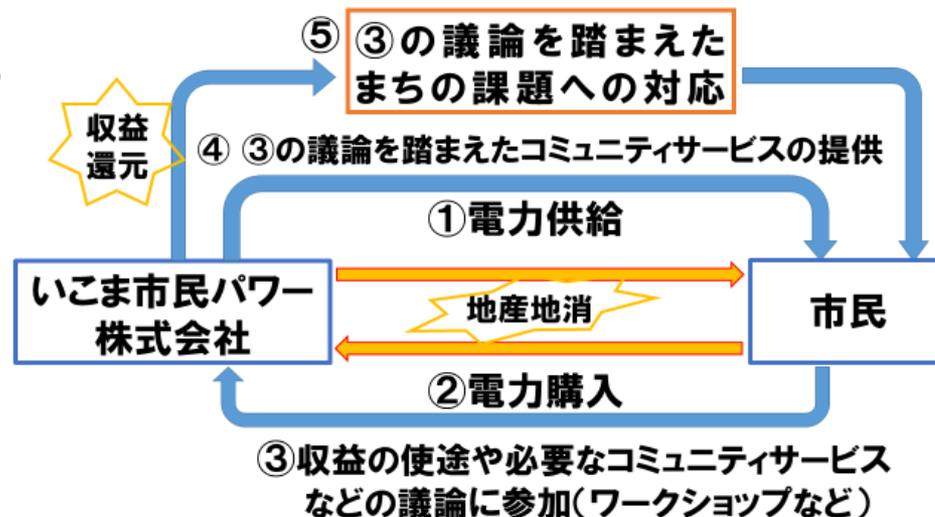
○事業内容

市域の再生可能エネルギーを最優先で調達し、公共施設、民間事業者、一般家庭に供給する電力小売り事業

○“いこま市民パワー”が目指すもの

～まちの魅力向上・課題解決に、エネルギーを切り口に取組む～

- ・収益は、株主に配当せず、市民サービスやまちの活性化のために活用します。
- ・新たな再生可能エネルギー電源の獲得、エネルギーの地産地消を進めます。
- ・市民の皆さんと一緒に考え、創っていく「市民による市民のための電力会社」を目指します。



☆全国初！市民団体が出資する地域新電力会社

市民参加や協創を徹底した初めての地域新電力

(一社)市民エネルギー生駒



○出資者・出資額

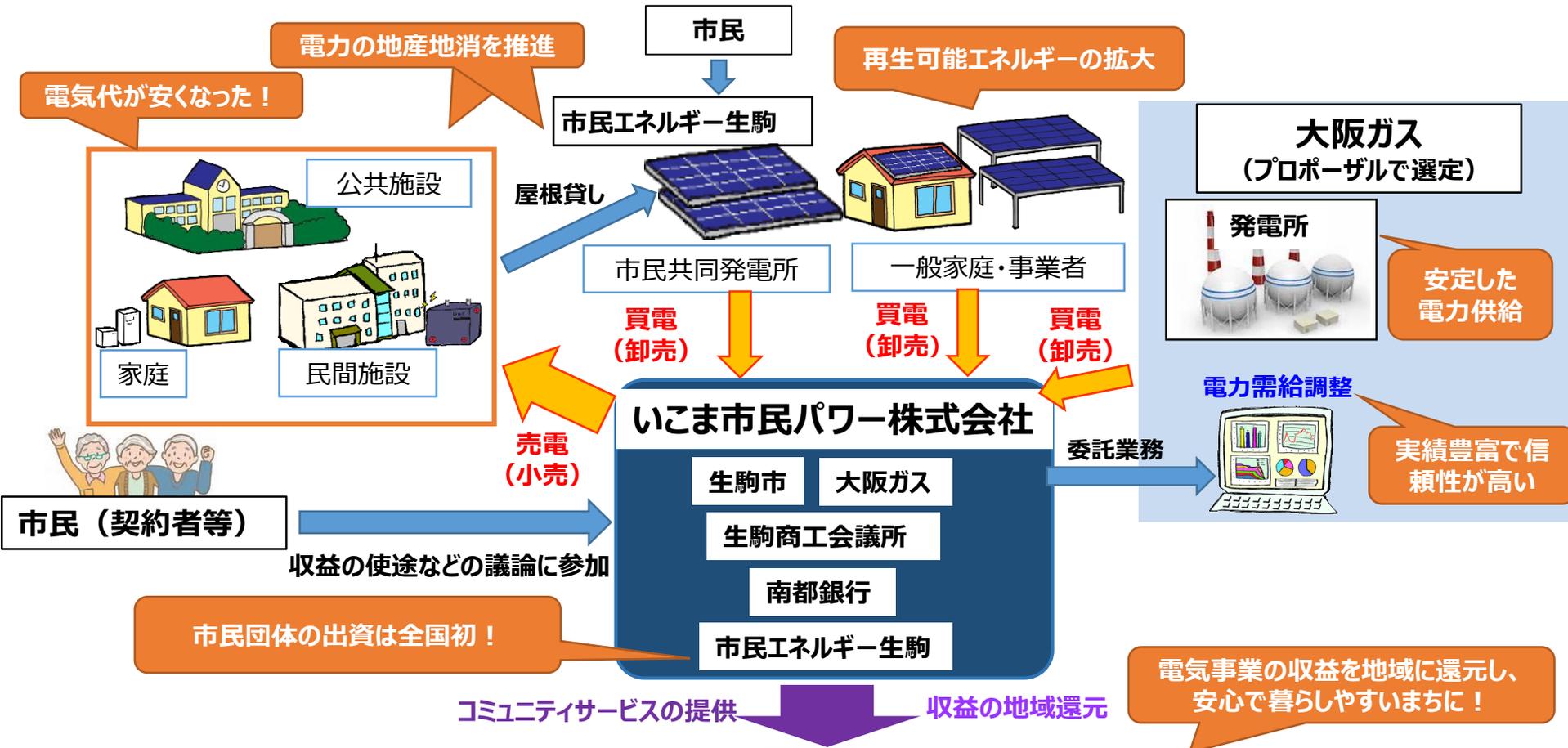
出資者	金額	主な役割
生駒市	765万円(51%)	公共施設の電力調達等事業運営全般への協力。
大阪ガス(株)	510万円(34%)	プロポーザルで選定。需給管理、電力のバックアップ、運営協力。
生駒商工会議所	90万円(6%)	地域に縁のある企業の意見を反映し、地域経済活性化を実現。
(株)南都銀行	75万円(5%)	地域経済の専門的知見を活かし、財政面での運営支援。
(一社)市民エネルギー生駒	60万円(4%)	太陽光発電からの電力供給、新規電源の開発、市民ネットワークを活用した事業支援
合 計	1,500万円 (100%)	

○役員

- 代表取締役 小紫 雅史 (生駒市長)
取締役 大黒 賢宏 (大阪ガス株式会社 エネルギー事業部 都市エネルギー第2営業部長)
取締役 大原 暁 (生駒商工会議所 専務理事)
取締役 楠 正志 (一般社団法人市民エネルギー生駒 代表理事)
監査役 竹本 和靖 (株式会社南都銀行 生駒支店長)

○所在地(事務所)

生駒市テレワーク&インキュベーションセンター IKOMA-DO(イコマド)内 (11月開設予定)



市民 (契約者等) と一緒に収益の活用方法を考える。
※ワークショップなど

活用例

ICTサービス

スマホ等を活用した
ICTサービス提供



高齢者見守り

教育関連

スポーツ講習、防災クッキング
環境出前講座

